

入学試験過去問題

数 学

神戸大学（文科系）

対象年度：2006 年

試験時間：80 分

問題数：3 問

第 1 問

平面上に原点 O から出る、相異なる 2 本の半直線 OX , OY をとり、 $\angle XOY < 180^\circ$ とする. 半直線 OX 上に O と異なる点 A を, 半直線 OY 上に O と異なる点 B をとり, $\vec{a} = \overrightarrow{OA}$, $\vec{b} = \overrightarrow{OB}$ とおく. 次の問に答えよ.

- (1) 点 C が $\angle XOY$ の二等分線上にあるとき, ベクトル $\vec{c} = \overrightarrow{OC}$ はある実数 t を用いて

$$\vec{c} = t \left(\frac{\vec{a}}{|\vec{a}|} + \frac{\vec{b}}{|\vec{b}|} \right)$$

と表されることを示せ.

- (2) $\angle XOY$ の二等分線と $\angle XAB$ の二等分線の交点を P とおく. $OA = 2$, $OB = 3$, $AB = 4$ のとき, $\vec{p} = \overrightarrow{OP}$ を, $\vec{a}$ と $\vec{b}$ を用いて表せ.

第 2 問

実数 t に対して xy 平面上の直線 $\ell_t : y = 2tx - t^2$ を考える．次の問に答えよ．

- (1) 点 P を通る直線 ℓ_t はただ 1 つであるとする．このような点 P の軌跡の方程式を求めよ．
- (2) t が $|t| \geq 1$ の範囲を動くとき，直線 ℓ_t が通る点 (x, y) の全体を図示せよ．

第 3 問

$\alpha = \frac{3 + \sqrt{7}i}{2}$ とする. ただし, i は虚数単位である. 次の問に答えよ.

- (1) α を解にもつような 2 次方程式 $x^2 + px + q = 0$ (p, q は実数) を求めよ.
- (2) 整数 a, b, c を係数とする 3 次方程式 $x^3 + ax^2 + bx + c = 0$ について, 解の 1 つは α であり, また $0 \leq x \leq 1$ の範囲に実数解を 1 つもつとする. このような整数の組 (a, b, c) をすべて求めよ.